

## セルカーク大学での学びと成長

### 外国語学部英米学科

セルカーク大学では、初日に Reading・Writing・Interview のレベル分けテストを受け、それぞれの実力に応じた授業を受けることができました。授業はすべて少人数制で行われ、日本の他大学、韓国、中国、台湾からの留学生も在籍しており、英語を母語としない学生同士で交流できるととても良い環境でした。

特に Business Communication の授業では TED Talk を題材にしたグループディスカッションが行われ、さまざまな国籍や年齢層の学生と意見を交換することができました。Reading の授業ではスキミングやサマリーの書き方を学び、情報を効率的に読み取る力を養うことができました。Writing の授業では Opinion Essay の正しい構成や表現方法を学び、今後の IELTS 受験に直結する知識を身につけることができました。私の場合、どの授業も最上級レベルに振り分けられたため、宿題の量も多く難易度も高いと感じましたが、その分大きな挑戦となりました。韓国からの留学生が自分の意見を堂々と伝えている姿を見て、自分に足りない積極性を痛感し、良い刺激を受けました。

また、Canadian Studies という特別授業もあり、ロシアからカナダに移住した Doukhobors と呼ばれる人々の歴史博物館を訪れ、伝統的な農具や共同生活の様子について学びました。キャッスルガー周辺に生息する動物についての授業も行われ、熊が出たときの対策やスカンク、エルクといった珍しい動物についても学ぶことができました。

学校主催のアクティビティも充実しており、隣町のネルソンでの観光や大学でのバーベキューを通じて、他の留学生たちと交流を深めることができました。最終日には先生の自宅の庭でポトラックパーティーが開催されました。1か月間で築いた友情を思うと別れが名残惜しくもありましたが、それだけ充実した留学生活を送れたと感じています。

学外での活動も忘れられない思い出ばかりです。ホストファミリーは社交的で温かく、毎日のように人と関わる機会を作ってくださいました。帰国後も連絡を取り合っており、積極的に交流できたことは貴重な経験でした。

大学が始まる前に行った3泊4日のキャンプは特に印象深い体験でそした。キャッスルガーから2時間ほど離れた自然の中で、電気を使わない生活を送り、川で泳いだりキャンプファイヤーを囲んだりしました。ホストファミリーの友人に泳ぎ方を教えてもらったり、メープル味のマシュマロと一緒に焼いて食べたりと、日本では体験できない活動ばかりでした。すべてを英語で行わなければならなかったため、語学力を実践的に鍛える良い機会になりました。さらに、カードゲームや宝探しゲームを通して、楽しみながら英語を使うこともできました。

週末にはホストブラザーが働くレストランに通い、彼の弾き語りを聴きながら食事を楽しみました。レストランのスタッフとも顔なじみになり、自然と会話が増えました。また、Trail という少し離れた街にあるスーパーで日本食を購入し、ホストファミリーに料理を振る舞ったことも、日常生活の中で英語を使う良い経験となりました。放課後は授業が午後早くに終わるため、友人とホッケー観戦に行ったり、スーパーや土産物屋で買い物を楽しむなど、学業と生活の両面で充実した時間を過ごすことができました。



授業や日常生活を通して、英語力を客観的に確認できただけでなく、他国の留学生と比較することで、自分に不足している語彙や表現を具体的に把握することができました。授業では「日本の学生は消極的で反応が薄い」と指摘されることが多く、積極的に発言する姿勢の重要性を強く実感しました。また、日常生活やアクティビティを通して、言語力だけでなく、異文化理解や多様な価値観への柔軟性も養うことができました。さらに、困難な状況でも自ら行動し交

流することで成長できるという自信を得られたことは、大きな変化の一つだと感じています。

今回の語学研修は、英語力の向上にとどまらず、学習や将来のキャリアにもつながる多くの学びを得られる機会となりました。授業で身につけたライティングスキルは、今後の IELTS などの試験対策に役立てていきたいと思います。

また、ディスカッションを通して培った表現力や積極性は、将来のビジネスや国際的な活動に向けての基盤となり、自信につながりました。さらに、異文化環境での生活を経験したことで、多様な価値観を受け入れる柔軟性や行動力も自然と養うことができました。

